

せとうちたいこさん
しまなみ海道に
いきターイ



「せとうちたいこさん
いきターイ」(豊心社)



「あせんべやけた」(豊心社)

今治市
合併20周年記念事業



「しなのりのまじよの
マジヨナさん」
(産成社)

長野ヒデ子



「てんごく」(のら書店)



絵本と紙芝居展

えほん

かみしばい

令和6年 9/21 (土) sat
→ 11/10 (日) sun

開館時間: 9:00 ~ 17:00

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

観覧料: 一般▶520円 学生▶260円

※高校生以下および18歳未満は無料
※企画展特別料金なし。通常の入館料でご覧いただけます。

後援:
絵本学会/社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)
/今治市文化協会/南海放送/テレビ愛媛/あいテレビ
/愛媛朝日テレビ/今治CATV/朝日新聞松山総局/
愛媛新聞社/毎日新聞松山支局/読売新聞松山支局/
産経新聞松山支局/

協力: 今治市立中央図書館、大三島図書館

長野ヒデ子さん
講演会
10月20日 10:30~12:10

ワークショップ
10月13日
「大三島のむかしばなし」を紙芝居に
ペリーマキコ(日本画家/のびなびあーと主宰)

詳しくは
美術館HP
またはチラシを
ご覧ください

Omishima Museum of Art, Imabari
今治市大三島美術館

〒794-1304
愛媛県今治市大三島町宮浦9099-1
TEL. (0897) 82-1234
FAX. (0897) 82-1248



長野ヒデ子 今治市合併20周年記念事業

絵本と紙芝居展

えほん

かみしばい



長野ヒデ子さんは今治市のご出身であり、代表作のひとつである「せとうちたいこさん」シリーズは、瀬戸内の海とタイがモチーフとなっています。2024年度(令和6年度)中に今治市は合併20周年を迎えるため、この記念の年に郷土出身の長野ヒデ子さんの絵本と紙芝居の原画展を行います。海と山に囲まれた大三島美術館で、楽しい出会いが待っています。

長野ヒデ子 プロフィール

1941年愛媛県今治市生まれ。絵本作家、紙芝居作家。イラストレーションなどの創作の仕事やエッセイ・翻訳も手がける。絵本「とうさんかあさん」(葦書房のち石風社/第1回日本の絵本賞文部大臣奨励賞受賞)でデビュー。代表作に「おかあさんがおかあさんになった日」(童心社/第41回産経児童出版文化賞受賞)、「せとうちたいこさん・デパートいきタイ」(童心社/第2回日本絵本賞受賞)、紙芝居に「おせんべやけた!」「てるてるぼうずちゃん」(ともに童心社)など。日本児童文学者協会、日本出版美術家協会、JBBY、絵本学会、日本ペンクラブ、紙芝居文化の会等会員。紙芝居文化推進協議会会長。第57回久留島武彦文化賞受賞。2024年、第63回児童文化功労賞受賞。今治タオル名誉ソムリエ。



撮影:品田博美

～ 出品作品 ～



「てんごく」詩・新美南吉(2023年のら書店)



「せとうちたいこさん ふじさんのほりタイ」(2020年童心社)



「まんまんぱっ!」作・長野麻子、絵・長野ヒデ子(2016年童心社)



「おばあちゃんがおばあちゃんになった日」(2015年童心社)ほか



「おにぎりおにぎり」(2022年おむすび舎)



「フルタちゃんのコロッケグー!」作・ケロオンス&ふくだりゅうそう、絵・長野ヒデ子(2022年世界文化社)



「となりのまじよのマジヨナさん」作・ノーマンブリッドウェル、絵・長野ヒデ子(2001年偕成社)

...ほか

長野ヒデ子さん講演会

日 時: 令和6年10月20日(日)10:30~12:10
 会 場: 今治市立大三島美術館
 参加費: 無料 定員: 50名(先着順)
 応募方法: 大三島美術館まで
 電話またはFAX(氏名、連絡先を明記)にて申込み
 ※講演会終了後、絵本購入者へサイン会を行います

ワークショップ「大三島のむかしばなし」を紙芝居に!

日 時: 令和6年10月13日(日)10:00~14:00(12:00~13:00昼休憩)
 講 師: ベリーマキコ(日本画家のびなびあーと主宰)
 会 場: 今治市大三島美術館
 参加費: 無料 定員: 10名 対象: 5歳以上
 応募方法: 10月6日までに大三島美術館まで
 電話またはFAX(氏名、連絡先を明記)にて申込み

関連イベント

Omishima Museum of Art, Imabari

今治市大三島美術館

〒794-1304 愛媛県今治市大三島町宮浦9099-1 TEL. (0897) 82-1234 FAX. (0897) 82-1248

